

2015九州PCカンファレンス in おきなわ 開催報告

テーマ：美ら島おきなわで情報セキュリティを考える

日時：2015年11月7日(土)～8日(日)

場所：琉球大学

本年度の九州PCカンファレンスが「つぶやき から つながり へ」をテーマに11月7日(土)～8日(日)に琉球大学にて開催された。九州PCカンファレンスは1993年に第1回開催以来25回を数え、全国PCカンファレンスと同じ長い歴史をもったカンファレンスである。九州各地を始め全国から100人以上の参加があり盛会のうちに開催された。7日に2件の基調講演が行われ、8日に分科会が行われた。



実行委員長（琉球大学 千住智信 先生） 開会挨拶

1件目の基調講演は、日経BP社の中野淳氏による「ICT利活用教育のリスクリテラシー～著作権侵害、個人情報漏洩、SNSでの炎上をどう防ぐか～」というタイトルで行われ、教育の現場における著作権法違反の問題を中心に詳しい情報提供があり、熱心な討論が行われた。2件目の基調講演は、アドビシステムズ社の吉崎誠多氏による「教育機関におけるセキュリティに配慮した写真・データ加工の留意点」というタイトルで行われ、教育機関の学内文書に求められる「永続性」「汎用性」「安全性」について、PDFの有用性が詳細に示された。



基調講演 I：ICT 利活用教育のリスクリテラシー
～ 著作権侵害、個人情報漏洩、SNS での炎上をどう防ぐか ～

分科会は 3 つの会が並列で行われ、合計 10 件の講演と 2 件のポスター発表、1 件のワークショップが開催された。ワークショップは、情報生活サポート研究会（CIEC 九州支部・大学生協九州事業連合）の主催で、「PC 講座の近未来を考える」というテーマで行われ、大学生協 PC 講座について、改善やポスト PC 講座について情報交換やディスカッションがなされた。

IT フェアについては 26 件もの企業が展示ブースを出していた。また、当日配られた論文集の末尾に出展企業一覧のみではなく、「出展予定商品」や「アピール文」も掲載されていた。これは参加者にとっては非常に有益な情報であり、良い試みだと感じた次第である。

毎回のことであるが九州 PC カンファレンスでは、大学生協九州事業連合の強力なバックアップがあり、九州の大学生協のまとめり、生協職員の大学教育への思いを目にする良い機会となった。

文責：宿久 洋（同志社大学／CIEC 副会長理事）